

第4回 吹田市まち・ひと・しごと創生推進委員会 議事概要

- 1 開催日時 平成27年10月22日（木）午後1時～午後2時
- 2 開催場所 高層棟4階 特別会議室
- 3 出席者 太田副市長（委員長）、池田副市長、梶谷教育長、赤野水道事業管理者、米丸特命統括監、羽間危機管理監、岡本総務部長、春藤行政経営部長、木野内市民生活部長、小西人権文化部長、中江まち産業活性部長、橋本こども部長、平野福祉保健部長、安井理事（保健施策担当）、石田理事（健康医療担当）、今川環境部長、野上都市整備部長、松本道路公園部長、上野下水道部長、村上消防長、川本教育総務部長、羽間学校教育部長、川下地域教育部長
- 4 議事内容
 - (1) 「(仮称)吹田市人口ビジョン」素案について
 - (2) 「(仮称)吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」素案について
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - (4) その他

上記内容について、事務局より説明

< 質疑応答事項（概要） >

【危機管理監】資料4の項目3において、第5回吹田市まち・ひと・しごと創生推進委員会にて10月時点の素案から最終案に変更するとあるが、パブリックコメント前に最終案としていいのか。

【事務局】3月定例会の前、2月末に最終案の完成を目指している。よって、第5回の推進委員会後には最終案（案）という形でパブリックコメントを実施し、その後最終案としたい。

【市民生活部長】人口ビジョン P. 24の学生人口を入れている趣旨は何か。

【事務局】学生が就職する際に人口の流出が見られる点から、それを少しでも抑制するためにまち産業活性部においてその対策を講じていただいている。

【教育総務部長】人口ビジョン P. 27で、推計期間を「より長期の推計（2060年）」としたのはなぜか。

【事務局】社人研の2040年までの推計を2060年まで延長するという意味で、「より長期」としている。国からは原則2060年までを基準年とされているため、このような設定にしている。

【こども部長】総合戦略の基本目標のかぎかっこの使い方について、基本目標2の「住みたい」「訪れたい」はかぎかっこを外して、基本目標4の「幸齢社会」は固有名詞であるため、かぎかっこを入れたほうがいいのか。

【事務局】「幸齢社会」に関しては吹田市の言葉としてかぎかっこをつけて記載したい。そ

の他の表記内容に関しては、今後相談、検討したい。

【福祉保健部長】人口ビジョンP. 24 の学生人口について、学校数の資料は26年度に対し、人口は22年度という点に違和感を覚える。22年度の人口で割るのであれば、人口は全て22年度に統一している旨を記載した方がいいのでは。

【事務局】人口に関しては国勢調査の人口を使用する方が適切であるので、その旨を記載する。

【特命統括監】新型交付金についての情報をできるだけ早めに得た上で、情報提供いただきたい。

また、新型交付金が一括で入ってきた場合、どの事業にあてこむかといった奪い合いのような形になることが危惧される。その整理についてはどう考えているのか。

【事務局】現時点では不明な点が多く、正確かどうかはわからないが、事業ごとに交付金の対象事業か否かが判断されることになるので、交付金の振り分けについてはその時点で明確になると考えている。

【特命統括監】国では個別で判断するべきだとしているが、実際に交付金が入ってきたときにはその点が明確にされないのではないか。

【事務局】これまで吹田に入ってきた交付金のうち、個票がついてきた場合もある。このような形で交付金が入れば問題はない。一方、個票がなく、一括で入ってきた場合は、今後相談していかなければならない課題だと考えている。

【池田副市長】人口ビジョンP. 29 の人口減少段階の第2段階、第3段階は高齢人口が減少に転じるタイミングと読み取ることができるが、P. 40 の基本推計では2055年過ぎても高齢人口の比率が増加している。P. 28、29 は基本推計の数字、P. 31 からが出生率が改善したシミュレーションになっているため、P. 29 の第3段階が2055年という記述はおかしいのではないか。

もう一点、P. 29、30 で、世帯数の数字が2040年で終わっている。2060年まで入れておいたほうが全体のバランスがいいのではないか。

【事務局】確認します。